## 令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名称	浜田市地域資	<b>資源循環活用施設</b>			
指定管理者	名 称 代表者 住 所	島根県農業協同組合 いわみ中央地区本部 常務理事本部長 佐々木 豊 浜田市黒川町3741番地			
指定期間	平成30年4月	1日~令和5年3月31日			
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認は、管理運営状況を事業報告書、実地検査、指定管理者へのピアリング等により行いました。 事業計画書に示された項目などを基準に具体的な業務の履行状況等についてチェックシートを用いて確認し、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の改善に向けた考え方」等を記入しました。				
担当部署 (問合せ先)	部署名 電話番号 E-mail	弥栄支所 産業建設課 産業振興係 0855-48-2112 y-sangyou@city.hamada.lg.jp			

# モニタリングの 総合コメント

本施設は弥栄町肉用牛改良流通センターが隣接しており、そこから排出される牛糞を利用し、一体的で効率的な管理運営が行われています。前年度から収入は増えていますが延べ利用者数は減少しており、利用者の新規開拓や堆肥販売と併せた散布事業にも取組んでいます。利用者数の回復に向けては今後とも連携して取組む必要があると考えています。

なお、良質な堆肥を製造するために関係機関と連携して研究を行っており、 技術的にも高い実績があり、弥栄自治区内の農業や土づくりに欠かせない堆 肥の供給を行っていますので引続き取組んでいきたいと考えます。

管理運営にあたっては、法令等を遵守しており、総合的に判断し「概ね適正」であったと評価します。

# 今後の業務改善に向けた考え方

有機農法の根源である土づくりの推進と循環型農業を確立するため、引き続き良質な堆肥の生産と安定供給に取り組む必要があります。

弥栄自治区で生産される農作物の高付加価値化に寄与し、「弥栄ブランド」 産品として販売拡大されることで農業所得の向上も期待されています。

良質な堆肥を生産するため既定の作業を着実に実践し、更なる生産技術向上の取組みが求められます。

#### 1 基本的な考え方

# ① 目的達成、公平性、効果等への所見

条例、協定書等に基づき、施設設置目的に沿った管理運営が行われています。隣接する弥 栄町肉用牛改良流通センターの牛糞等を利用することで安定した堆肥供給を行っており、有 機・減農薬農業の振興に一定の実績をあげています。

#### 2 業務内容

## ① 事業への具体的な取り組み方について

協定書に基づき、良質な堆肥生産と販売のため、成分検査等による品質向上と弥栄町肉用 牛改良流通センターと連携した安定供給に取り組んでいます。

## ② 施設の運営体制や組織について

隣接する弥栄町肉用牛改良流通センターの職員が兼務し、業務を行っています。職員については、年12回程度の研修が行われており、顧客満足度の向上、法令遵守等について積極的な取り組みが行われています。

## ③ 適切な事務や経理について

施設関係の事務及び経理については、指定管理業務仕様書及び島根県農業協同組合各規定に基づき適正に処理されています。

## ④ 安全管理、情報管理、緊急時等の対応について

各種危機発生時のマニュアルが整備されています。また、施設及び機械、車両の安全保守点検も適正に行われています。

#### ⑤ その他業務内容について

特になし。

#### 3 事業収支

## ① 収入確保や経費節減の取り組み、収支のバランスについて

前年度から収入は増えておりますが延べ利用者数は減少しており、利用者の新規開拓や堆肥販売と併せた散布事業にも取組んでいます。利用者数の回復に向けては今後とも連携して取組む必要があると考えています(令和元年度は西条柿やブドウ農家、組み合わせ作物生産農家等への堆肥斡旋を実施)

# 施設概要調書

# 令和元年度

# 1 施設概要

施設名	浜田市地域資源循環活用施設						
所在地	浜田市弥栄	:町大坪612番地4					
開設年月	平成16年3月	月(平成16年3月築)					
設置条例	浜田市地域	資源循環活用施設条例					
設置目的	肉用牛農家、木材加工施設等から排出される有用な資源を有効に活用し、良質な 堆肥の生産を通した有機肥料の安定供給を図り、農産物の生産拡大に資する。						
	敷地面積	<b>地面積</b> 103,131.14㎡					
16-50 a low	延床面積	279.00 m <sup>2</sup>					
施設の概   要	施設内容	設内容 地域資源循環活用施設 (木造平屋建 279㎡)					
	事業内容	本業内容 肉用牛農家からの畜糞、木材加工業者から排出される資源を優良な地肥に生産し、耕種農家の圃場に散布。					
公共施設革	公共施設再配置実施計画の方針 廃止(耐用年数経過後)						

**2 運営状況** (単位:日)

項目	H29実績	H30実績	R1計画	R1実績	前年度対比	計画対比
開館日数	365	365	366	366	_	_
開館時間	8:00~17:00	8:00~17:00	8:00~17:00	8:00~17:00	—	_

3 利用実績 (単位:人)

項目	H29実績	H30実績	R1計画	R1実績	前年度対比	
延べ利用者数	63	67	70	38	56.7%	54.3%

# 4 事業収支

収入 (単位:円)

項目	H29実績	H30実績	R1計画	R1実績	前年度対比	計画対比
利用料金	1,194,639	955,184	1,000,000	1,124,730	117.8%	112.5%
収入計(A)	1,194,639	955,184	1,000,000	1,124,730	117.8%	112.5%

支出 (単位:円)

-E-D		1100 th/#	D4=1 ==	D1中4	3	
項目	H29実績	H30実績	R1計画	R1実績	前年度対比	計画対比
人件費						
給与	159,868	157,050	160,000	171,030	108.9%	106.9%
管理費						
光熱水費	58,029	63,427	60,000	61,104	96.3%	101.8%
車両費	81,225	46,336	80,000	47,541	102.6%	59.4%
施設管理費	10,360	10,105	20,000	11,128	110.1%	55.6%
資材費	584,400	358,374	500,000	605,700	169.0%	121.1%
支出計(B)	893,882	635,292	820,000	896,503	141.1%	109.3%
収支差引(A-B)	300,757	319,892	180,000	228,227		